

平成24年度 南相木小学校グランドデザイン

学校教育目標

かしこく

- ・相手の話を最後まで聞く子
- ・自分の考え、思いを積極的に表現する子
- ・課題に向かって、粘り強く追究する子

やさしく

- ・誰にでも明るいあいさつや返事をする子
- ・相手の気持ちを理解して、行動を起こす子
- ・ふるさとの人・もの・ことに学ぶ子

たくましく

- ・自分の健康に関心を持ち、体を鍛える子
- ・自分のめあてをもって、がんばる子
- ・清掃、勤労活動に汗し、力を合わせて働く子

《子どもの育ちの姿》

- 指示されたこと、注意されたことを素直に聞き入れることができる。
- 指示されたことは、きちんとできる。
- 授業にまじめな態度で取り組む児童が多い。
- 児童の「聞くこと・話すこと」への意識が向上し、自ら伝えようとする姿が見られるようになってきた。

《さらに伸ばしたい子どもの姿》

- ▲自分で考え、判断して行動することに課題がある。
- ▲自ら主体的に意見交換したり考え合ったりすることがに課題がある。
- ▲自分の課題をはっきりもてず、追究や取り組みが人任せになることがある。

学力向上の取り組み

- ① つける力を明確にした授業実践。
- ② 家庭学習の充実
家庭との協力による、家庭学習の定着と充実。

今年度の重点目標

自ら学びを求めていく子

- 《めざす具体的な姿》
- ◇ 思いや考えを自分から表現出来る子
 - ◇ 願いをもって進んで活動する子

特色ある教育

オーストラリアとの交流

- 1年生から英語活動に取り組み、英語に親しみながら、オーストラリアとの交流を楽しむ。
- 5, 6年生は、サンディークリーク小学校を訪問し、直接交流を行う。

日常的に取り組むこと

授業で行うこと

- 毎時間の授業で「ねらい・見通し・振り返り」を大切にする。
- 少人数グループの話し合いを取り入れ、個の意見を吟味したり、お互いの考えをわかり合う場の設定をする。
- 児童の発言・発表を軸とした授業展開の工夫をする。

学校・学級経営

- 自問清掃で一人一人の主体性をねらう。
- 「くん・さん」を付けて呼び合い、相手を大切にしている心情を育む。
- だれとでも自分から進んであいさつできる心を育てる。
- 保育園・北相木小・中学校との交流授業を深め、人間関係を広げる。

ふるさと学習

- 子どもたち主体の活動から、地域の人やこと、ものを取り入れた学習を行う。(学習発表会で発表)
〈ねらい〉
- ・ 地域よきに触れ、地域を大切にしようとする心を育む。
- ・ ふるさと学習発表会で自分たちの思いや考えを伝える。